

---

## 基本目標5

### 活力あふれるまちづくり

---

#### 5-1 活力ある商工業の振興

- (1)地場産業の育成振興
- (2)新たな産業の振興
- (3)企業誘致の推進
- (4)就業支援対策の充実

#### 5-2 魅力ある農林水産業の振興

- (1)農業の振興
- (2)畜産業の振興
- (3)林業の振興
- (4)水産業の振興

#### 5-3 地域資源を活かした観光のまちづくり

- (1)観光交流のまちづくり
- (2)戦略的な情報発信
- (3)観光客の受入環境整備

## 5-1

# 活力ある商工業の振興

関連する SDGs



## めざす姿

新商品開発や販路拡大など地元企業の新たなチャレンジ、生産性向上・業務効率化といった経営基盤強化への取組を支援するとともに、企業間連携を促進することにより、地元企業が成長するビジネス環境を整え、地域経済の活性化を図ります。

サテライトオフィスをはじめ、企業誘致に積極的に取り組み、雇用創出や税収の確保はもちろん、地域課題の解決や交流人口・関係人口の拡大など、地域活性化につなげます。

## 現状と課題

- 市内企業訪問を行うとともに、がんばる中小企業応援パッケージ事業により、これまでに市内事業者の事業拡大、創業促進などの支援を実施しましたが、市内事業者間の連携による新たなビジネスの創出については、さらなる取組が必要です。
- 市内にある産業団地2箇所の分譲が終了し、新たに企業立地可能な用地が不足しています。
- 都市部企業を中心に会社機能の分散化のため、地方に事業所を設置するニーズが高まっています。
- 企業立地奨励条例の改正やサテライトオフィス等誘致支援事業補助金の創設など、企業が進出しやすい環境整備を進めています。
- ハローワークと連携し、合同就職面接会を実施し地元企業への就職を促進していますが、近年は面接会への参加企業が固定化しており、参加者は減少傾向にあります。

## 成果指標

指 標	単位	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和8年度)	備 考
企業誘致件数 (サテライトオフィス含む)	件	1	2	
がんばる中小企業パッケージ事業数	件	8	9	

基本計画

基本目標1

基本目標2

基本目標3

基本目標4

基本目標5

基本目標6

# 主要施策

## (1) 地場産業の育成振興

### ① ふるさと納税を活用した地場製品のPR

鳴門の地場産品や、ゆかりのある商品をふるさと納税返礼品に追加することで、ラインナップを充実させ、寄附金増額を図るとともに、地場産品のPRを行います。

特に、道の駅「くるくる なると」と「鳴門市ふるさと納税事業」の連携を図り、持続的な地域経済の発展に寄与する「鳴門モデル」として、オリジナリティに富む返礼品開発や地場産品の販路拡大を図ると同時に、生産者や事業者との連携を強化し、新たな地域資源発掘やブランド化等を推進します。

主な事業や取組等
● 地域産業活性化「鳴門モデル」推進事業

## (2) 新たな産業の振興

### ① エコノミックガーデニング<sup>20</sup>の推進

企業訪問や中小企業振興施策検討委員会の開催により、市内事業者の課題・現状の把握をすすめる、事業拡大、販路開拓などがんばる中小企業応援パッケージ事業をはじめとした支援施策を実施します。

ワンストップ相談窓口と市内経済団体等により構成された創業者支援ネットワークにより、市内での創業促進を図ります。

地元企業の新たなチャレンジやDX・GX<sup>21</sup>など経営基盤強化への取組を支援するとともに、市内事業者間での連携や市内にサテライトオフィスを設置した事業者との連携など、企業間連携を促進することで新たなビジネスを創出します。

主な事業や取組等	
● がんばる中小企業応援パッケージ事業	● 中小企業振興施策検討委員会の開催
● 企業訪問	

### ② 新たなビジネス展開

商工関係団体や金融機関等と連携し、なるとビジネスプランコンテストを開催し、経済活性化につながる新事業を考案してもらうとともに、実現のための必要な支援を行うなど、鳴門での産業創出を促進します。

主な事業や取組等
● なるとビジネスプランコンテスト開催事業

基本計画

基本目標1

基本目標2

基本目標3

基本目標4

基本目標5

基本目標6

<sup>20</sup> エコノミックガーデニング…地域経済を「庭」、地元の中小企業を「植物」に見立て、地域という土壌を活かして地元の中小企業を大切に育てることにより地域経済を活性化させる施策。

<sup>21</sup> GX…グリーントランスフォーメーションの略称。温室効果ガスの排出原因となっている化石燃料などから脱炭素ガスや太陽光・風力発電といった再生可能エネルギーに転換して、経済社会システム全体の変革をめざすもの。

### (3)企業誘致の推進

#### ①企業誘致の推進

企業立地奨励条例等に基づく支援制度を活用し、新設だけでなく増設・移転、また小規模企業者を対象に幅広く企業誘致を進め、製造業だけでなく地域活性化につながる商業施設等も含め、デベロッパーや金融機関等と連携しながら、誘致活動を実施します。

休校施設をはじめ公共施設を有効に活用するとともに、宅建協会と連携し、企業立地候補地のリスト化や進出を検討する企業に提案できる条件整備を進めます。

##### 主な事業や取組等

- 企業立地奨励条例等に基づく支援制度
- 企業立地候補地のリスト化・条件整備
- 企業誘致専用ウェブサイトによる情報発信

#### ②サテライトオフィス誘致の推進

都市部企業の技術・ノウハウにより、販路拡大・生産性向上をはじめとした地元企業の課題解決を図るなど、地元企業の情報を積極的に発信し、都市部企業と地元企業のビジネスマッチングにより、サテライトオフィス誘致を図ります。

本市へサテライトオフィスを設置した事業者間の連携や人脈により、新たな事業者を誘致するなど、誘致の好循環が生まれるような取組を推進します。

##### 主な事業や取組等

- サテライトオフィス等誘致支援事業
- 企業誘致専用ウェブサイトによる情報発信

### (4)就業支援対策の充実

#### ①次世代への教育

次世代を担う児童及び生徒が将来社会人や職業人として自立できるよう、経済団体や教育機関等と連携し、勤労観や職業観の醸成、人材の育成に努めます。

小学生から高校生まで連続して、職業に関する理解及び職業体験の機会を提供するとともに、地元企業への理解を深める機会を充実します。

##### 主な事業や取組等

- 市内企業おしごと体験事業
- 大麻町ものづくり体験事業

#### ②市内企業への就職支援

徳島労働局との雇用対策協定に基づき、ハローワークなどの関係機関と連携し、求職者に対して幅広く求人情報を提供するとともに、合同就職面接会をはじめ、雇用対策事業を実施することにより、市内企業と求職者（移住者含む）のマッチングを行います。

合同就職面接会は、新たな企業の参加を促すとともに、UIJターンをはじめ移住施策と連携するなど、面接会への参加者数を増やす取組を推進します。

##### 主な事業や取組等

- 合同就職面接会「鳴門市就職マッチングフェア」

## 5-2

# 魅力ある農林水産業の振興

関連する SDGs



## めざす姿

農業・水産業の生産性の向上や生産基盤の保全・利用促進をはじめ、農水産物のブランド化、六次産業化<sup>22</sup>など、販売促進や販路開拓・拡大に向け積極的に取り組みます。

また、地産地消を推進し、地元農水産物の普及に努めます。

## 現状と課題

- 農業の担い手の高齢化、後継者不足は大きな課題となっています。今後は、認定農業者や認定新規就農者など、地域農業を担う経営体の育成と確保が重要です。また、優良農地の効率的な利用促進を図り、本市の農業の持続的発展を進めていくためには地域の中心となる担い手に農地を集積・集約していく取組が必要です。農地利用の最適化に向けては関係機関が地域ぐるみで連携し、きめ細かな取組を持続的に行っていくことが必要です。
- 高品質で安全・安心な農作物を生産するために、県等の関係機関と連携し、各種農産物の栽培方法の研修会等を開催し、主要品目の高品質生産に向けた生産技術の普及に努めました。また、コウノトリブランド認証制度の普及を推進し、引き続き、環境に配慮した農業についても、推進していく必要があります。
- 国営吉野川下流域農地防災事業の一部供用に伴い、用水の改善による水質向上を図ることができましたが、今後の施設の維持管理について関係団体と協議しながら適切な管理をしていく必要があります。
- 市の林野面積は、7,085haで市総面積の約52%を占めていますが、気候及び地質等、自然条件が森林の育成に適していないのが現状です。しかし、森林には公益的な機能が大きく、継続的な維持管理が必要で、森林の荒廃等により有害鳥獣の生活エリアが居住地に近接し、被害が確認されています。今後、有害鳥獣を含む野生動物とも共存・共栄を図り、生態系全体を保全しながら整備を進めることで農作物等の被害を削減していく必要があります。

<sup>22</sup> 六次産業化…農林漁業者（1次産業）が、農産物などの生産物の元々持っている価値をさらに高め、それにより、農林漁業者の所得（収入）を向上していくこと。生産物の価値を上げるため、農林漁業者が農畜産物・水産物の生産だけでなく、食品加工（2次産業）、流通・販売（3次産業）にも取り組み、それによって農林水産業を活性化させ、農山漁村の経済を豊かにしていこうとするもの。

- 全国的な漁業の担い手の減少傾向の中で、本市においても高齢化に伴う担い手の減少は続いており、さらなる人材育成に向けた支援強化が求められています。また、近年の魚価の低迷による生産者の所得減少が水産業の持続的な発展における課題となっており、その対策として水産物のブランド化をはじめ、生産者の所得向上に向けた取組を強化していく必要があります。
- 本市の漁港施設は、漁協が所有・管理している漁業者の共同利用施設も含め、全体的に老朽化が進んでいることから、今後も引き続き適切な維持管理を行う必要があります。また、海水温の上昇等、海面環境の変化により水産資源の減少が進んでおり、国際的な問題になっている海洋ごみの増加問題とあわせて、その対策が必要になっています。

## 成果指標

指 標	単位	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和8年度)	備 考
認定農業者数	件	412	437	
担い手の利用集積面積	ha	996	1,338	

## 主要施策

### (1) 農業の振興

#### ① 担い手の育成・確保

農業経営基盤強化促進基本構想に示された農業経営の改善に取り組む認定農業者の育成・確保を推進します。また、認定新規就農者制度の普及促進を図り、新規就農者への支援・養成に努めます。

人・農地プランに基づき、各地域で座談会・検討会を開催し、地域農業の課題解決に向けて取り組みます。

主な事業や取組等	
● 人・農地プランに基づく座談会・検討会の開催	● 担い手の育成・確保

#### ② ブランド化の推進と食の安全・安心の確保

本市の特産物である「なると金時」「だいこん」「れんこん」「なし」「鳴門らっきょ」を主要品目として、生産から販売までの総合的な戦略を展開し、ブランド化を進めます。また、魅力ある農産物を原料として作られた六次産業化商品の開発等に関する支援も実施し、産直市・道の駅の発展にも努めます。

本市に飛来・定着しているコウノトリ、その大きな要因となっている環境に配慮した農業生産に取り組む「コウノトリブランド認証制度」について周知を図っていくとともに、コウノトリが定着しやすい環境の確保・保全に向けた取組を継続します。

主な事業や取組等	
● 産直市、道の駅を通じた地産地消の推進	● コウノトリブランド認証制度の推進
● 県内外でのPR活動	● 環境にやさしい農業の推進

### ③農用地の利用促進と農村集落の保全

「農業振興地域整備計画」に基づく優良農地の保全に努めます。また、農地の生産性の向上と、効率的利用をめざすために、かんしょ及びびれんこんなどの特産作物の営農類型を中心とした認定農業者や地域の中核的農業者、担い手を中心に、優良農地の利用集積を積極的に推進します。

耕作放棄地の発生を未然に防止するとともに、現状の耕作放棄地を活用できる積極的な取組を進めていきます。また、有害鳥獣や特定外来生物などによる農業被害の防止に取り組みます。

主な事業や取組等	
●農地の集積・集約化	●農業用廃材の適正処理
●農地中間管理機構の活用	●有害鳥獣対策
●耕作放棄地の発生防止及び解消の促進	●特定外来生物の防除

### ④農業生産基盤の整備

水資源機構、吉野川下流域土地改良区等関係団体と連携して用水の管理を行っていくとともに、国・県の補助事業等を活用し機器の修繕を適宜行い、施設の長寿命化を推進します。

主な事業や取組等	
●農道の整備	●農村環境の整備
●用排水施設の整備	●農地の防災保全

## (2)畜産業の振興

### ①畜産業の経営の安定化

規模の拡大や飼料自給率の向上を図り、生産性の高い畜産経営を推進します。

また、畜産農家・耕作農家の連携による有機肥料の生産や土づくりを促進します。

主な事業や取組等	
●畜産農家・耕作農家の連携促進	●生産・販売体制の強化

## (3)林業の振興

### ①緑豊かな森林の整備

森林などについては、水資源のかん養・自然環境保全・防災などの公益的機能に配慮するとともに、快適で潤いのある住環境を創出・確保するための緑地として、機能の保全と適切な利用を図ります。

また、松食い虫被害については、森林病虫害等防除事業を活用し、樹幹注入、伐倒等を効果的に行います。

主な事業や取組等	
●森林資源の保護・保全と適正利用	●野生生物との共存・共生
●森林環境譲与税の活用	

## (4)水産業の振興

### ①担い手の育成・確保

今後も「鳴門市うずしお漁業者青年部の活動支援」と「とくしま漁業アカデミーの活用」を柱とした若手漁業者の育成・支援を進めます。

また、「浜の活力再生広域プラン」(広域浜プラン)に基づく、漁業者個人に対する各種支援制度の周知・拡大を図ります。

主な事業や取組等	
●鳴門市うずしお漁業者青年部の活動支援	●とくしま漁業アカデミーの活用

### ②水産資源の保全

SDGsの目標[海洋資源]の達成に向け、試験研究機関とも連携し、水産資源の保全を目的とした取組を進めます。

漁場環境の悪化や水産資源の枯渇による漁獲量の減少対策を目的とした「掃海事業」の実施や、海岸漂着ごみ対策、種苗放流事業等への支援を進めます。

主な事業や取組等	
●漁場の整備	●試験研究機関との連携
●水産資源の保護管理	

### ③漁業経営の安定化とブランド化の推進

本市の特産物「鳴門鯛」や「鳴門わかめ」等の販売促進や、新たなブランド品目の検討を進めることにより、生産者所得の向上を図ります。

また、本市水産業の基幹である「わかめ養殖」において課題となっている、根などの「残渣」について、その有効活用の方法を検討することにより課題解決を図るとともに、市内の産直施設等を核とした地産地消の推進を図ります。

主な事業や取組等	
●ブランド化の推進	●地産地消の推進
●わかめ残渣の有効活用	

### ④漁業生産基盤の整備

今後も引き続き、市内漁港施設の適切な維持管理に努めます。

また、本市水産業の持続的発展のために、生産者団体である漁協への支援を行うことで、漁業者への間接的支援を図ります。

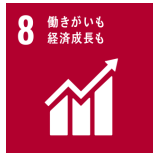
主な事業や取組等	
●漁港施設の維持管理	●漁協への支援



## 5-3

# 地域資源を活かした観光のまちづくり

関連する SDGs



## めざす姿

豊かな自然や歴史、文化など地域資源を活かし、観光地の魅力向上や賑わいと交流を創出するとともに、各種情報媒体を活用したプロモーション強化を図ることにより、観光振興を推進します。

また、外国人を含めた観光客の受入環境整備を推進します。

## 現状と課題

- 本市は、観光客の多くを占める関西圏とは好アクセスであること等から、滞在時間が短く宿泊を伴わない「通過型観光」が多く、旅行消費額の向上を図るためには「滞在型観光」を推進することが必要です。
- 令和4（2022）年4月に道の駅「くるくる なると」が開駅しました。今後は、当駅の特徴を活かし、ハブ機能を持った観光拠点として、市内への周遊を促進し、滞在時間の延長や旅行消費額の向上に繋げていくことが必要です。
- コロナ禍の影響によって、分散型旅行や個人旅行の需要が拡大するなど、旅行形態が変化しています。今後は、観光を取り巻く環境変化や多様化する観光客のニーズに合わせて、観光誘客や情報発信等の手法を検討することが必要です。
- イメージアップ小冊子「鳴門やけん」を市内外の観光施設で配布するとともに、「鳴門やけんダイジェスト版」を市内の小学5年生に配布し、鳴門の仕事の素晴らしさや地場製品の知名度向上を図りました。今後は、市外へ向けた地場製品のPRなどにさらに力を入れることが必要です。
- 2025年大阪・関西万博や2027年ワールドマスターズゲームズ関西の開催を契機として、世界中の様々な国・地域からの観光客の増加が見込まれることから、本市で安心・快適に旅行を楽しんでいただくために受入環境整備の推進が必要です。

基本計画

基本目標1

基本目標2

基本目標3

基本目標4

基本目標5

基本目標6

## 成果指標

指 標	単位	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和8年度)	備 考
鳴門市観光入込客数	万人	116 ※コロナによる影響	320	参考値：233 (令和元年度)

## 主要施策

### (1)観光交流のまちづくり

#### ①滞在型観光の推進

本市においては、滞在時間が短く宿泊を伴わない「通過型観光」が多いため、鳴門海峡の渦潮をはじめとする自然景観や歴史・文化資源、豊富な観光資源を活かしたプロモーションのほか、ハブ機能を持った道の駅「くるくる なると」等の活用により、市内への周遊を促進し、滞在時間を延長することで、旅行消費額の向上に繋がる「滞在型観光」を推進します。

##### 主な事業や取組等

- 世界最大級『鳴門の渦潮』を中心とした広域観光ブランディング事業
- 道の駅「くるくる なると」等を活かした周遊促進の取組

#### ②賑わいと交流の創出

「大鳴門橋の桁下空間を活かした自転車道の整備」の実現を踏まえ、徳島県、兵庫県、南あわじ市等の関係機関と情報共有を密に行うとともに、引き続き、サイクリストを呼び込むための環境整備や広報活動、関係イベント等の各種施策を計画的に行います。

イベント開催による県内外からの誘客、コンベンション誘致等を推進することにより、にぎわい創出及び交流人口の増加を図ります。

##### 主な事業や取組等

- 四国のゲートウェイ推進プロジェクト
- サイクルツーリズム推進事業
- 鳴門市阿波おどり・鳴門市納涼花火大会
- 鳴門市コンベンション開催支援助成金

#### ③スポーツによる地域活性化

本市をホームタウンとする徳島ヴォルティスや徳島インディゴソックスといった地元プロスポーツの応援機運を醸成するとともに、プロスポーツチームの集客力や情報発信力を活用し、交流人口の増加を通じた地域の賑わい創出に取り組みます。

また、自治体とスポーツ関連団体、観光事業者などで構成する官民一体型の組織NARUTOスポーツコミッションが中心となり、スポーツ大会・合宿やプロスポーツイベントの誘致、スポーツツーリズムの推進、スポーツ関連産業の創出など、スポーツを通じた地域活性化を図ります。

##### 主な事業や取組等

- 徳島ヴォルティスホームタウン推進事業
- スポーツアドバイザー事業
- プロスポーツ誘致事業
- スポーツコミッション事業

## (2)戦略的な情報発信

### ①情報発信強化とイメージアップ

SNSやウェブサイト、各種情報誌など、観光を取り巻く環境変化や多様化する観光客のニーズに合わせた戦略的な情報発信を推進します。

パブリシティ<sup>23</sup>マニュアルに基づき、新聞やテレビなどのメディアを積極的に活用し、市民等との情報共有を促進するとともに、全国に向けた鳴門の魅力の情報発信強化を図ります。

主な事業や取組等	
● SNS等を活用した情報発信	● 観光情報サイトの運用・強化
● 観光パンフレット制作	● 観光キャンペーンの実施
● イメージアップ冊子等の制作	

## (3)観光客の受入環境整備

### ①国内外観光客の受入環境整備

大阪・関西万博やワールドマスタースゲームズ関西、「大鳴門橋の桁下空間を活かした自転車道の整備」など、今後の国内外からの観光客増加を見据え、広域連携事業等を活用しながら、観光コンテンツの造成・磨き上げや観光情報の整理等の受入環境整備を推進します。

主な事業や取組等	
● 広域観光連携事業	● 多言語観光情報サイトの強化

### ②観光関連団体等との連携強化

市内外の観光関連団体や民間事業者との連携を強化することで、誘客事業の相乗効果や情報発信力の向上を図るなど、様々な形で効果的に観光振興を推進します。

主な事業や取組等	
● 観光関連団体・民間事業者との連携強化	

<sup>23</sup> パブリシティ…行政機関などが、広く一般に知らせたい情報を報道機関に提供したり、また、取材に応じたりして、記事や映像として報道してもらうための広報活動。